



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**202**期 報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役社長
いのうえまさひで
井上雅偉

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび代表取締役社長に就任いたしました井上雅偉でございます。株主の皆様のご期待に沿えるよう尽力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

当社第202期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進行や行動制限の緩和などにより、経済社会活動は回復の動きが続いたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大によるサプライチェーンでの供給懸念、資源価格の上昇、ウクライナをめぐる国際情勢の悪化など、景気の先行きについては引き続き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『増強21-25』において、計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージと位置づけ、収益の柱とする研磨材・化学工業品・生活衣料、第4の柱を目指す化成品を軸に高収益な業態に転換を図り、各事業の成長基盤の増強に取り組みました。

当期の業績は、連結売上高は前年同期比1,015百万円（2.8%）減収の35,916百万円となり、営業利益は591百万円（11.2%）増益の5,877百万円、経常利益は594百万円（10.9%）増益の6,045百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比139百万円（3.2%）増益の4,455百万円となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当期の期首から適用したことにより、売上高は3,721百万円減少しております。これを勘案しますと、売上高は39,638百万円となり、前年同期比2,706百万円（7.3%）増収となります。

当期の期末配当につきましては、経営環境および業績等を勘案し、1株当たり55円とさせていただきたいと存じます。これにより、中間配当55円を加えました当期の年間配当は、1株につき110円となります。

中期経営計画『増強21-25』では、未来のありたい姿から導出した2025年像と現状の延長線上の2025年像とのギャップを埋めるべく、中期的に取り組む施策を着実に実施し、事業ポートフォリオの積極的な見直しと持続可能で儲かるビジネスへの転換を図ることにより、“圧倒的なニッチナンバーワン企業”を目指します。計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージ、後半2年を「非連続的成長の実現」ステージと位置づけ、収益機会の増加と提供価値の強化を施策の両輪として、『稼ぐ力』を強化いたします。同時にデジタルトランスフォーメーション（DX）の継続・深化にも取り組み、各事業の成長基盤を連続的・非連続的に「増強」していきます。さらに、社会の要請であるサステナブルな社会を創るための施策を次々と提案、実行してまいります。

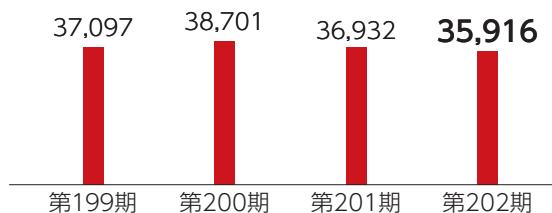
計画期間の前半3年間では、環境変化に応じた事業ポートフォリオの見直し、持続可能で儲かるビジネスへの転換を段階的に進めています。主力事業として成長を続ける研磨材事業では、今後も加速していくことが予測される半導体需要に応えるため、最新の研磨評価設備を導入し、研磨材開発のスピードアップと評価精度向上を実現させ、多様かつ高度な顧客ニーズに応える生産体制の構築にも取り組みます。化学工業品事業では、更なる事業規模拡大のため、生産能力拡大に向けて様々な取り組みを促進します。生活衣料事業では、顧客の購買動向に応じたより収益性の高い製品への絞り込みとネット販売の強化を図り、ECサイトと実店舗販売を連携させ、新たな顧客開拓に取り組みます。その他の事業では、化成品事業を新規商材拡大と金型部門の強化で、重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく事業基盤整備を進めています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

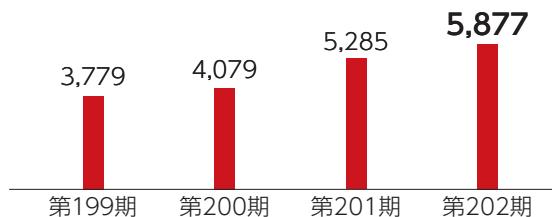
売上高

(単位：百万円)



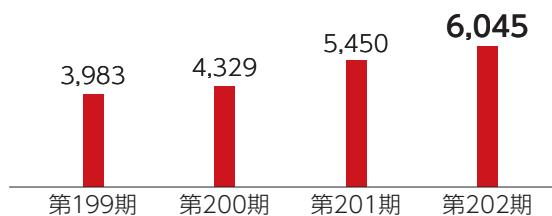
営業利益

(単位：百万円)



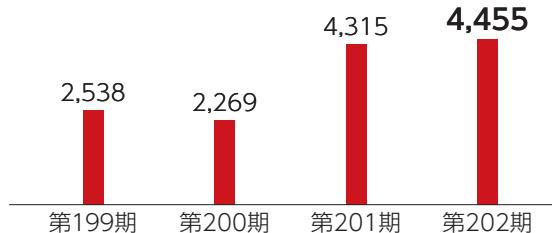
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



売上高構成比
42.1%

研磨材事業

売上高 15,137百万円 営業利益 3,682百万円

主力の超精密加工用研磨材のうち、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途（CMP）等は、旺盛な半導体需要に世界的な半導体不足が拍車をかけ、5G通信、自動車、各種センサー用およびパソコン、スマートフォン、データセンター用の半導体向けの需要が拡大しました。ハードディスク用途は一部ユーザーからの受注が減少しましたが、液晶ガラス用途については、TV用大型パネル向けの需要が牽引し、堅調に推移しました。



この結果、売上高は前年同期比1,968百万円（15.0%）増収の15,137百万円となり、営業利益は148百万円（4.2%）増益の3,682百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用による影響はありません。

売上高構成比
31.8%

化学工業品事業

売上高 11,407百万円 営業利益 1,367百万円

機能性材料、医薬中間体および農業中間体などの受託製造は、コロナ影響の一巡による国内需要の回復に加え、サプライチェーンの見直しや中国における環境規制の影響による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向が続いており、安定生産を継続することができました。また、売上は順調に推移しましたが、原材料費の高騰や減価償却費の上昇により、利益が圧迫されました。

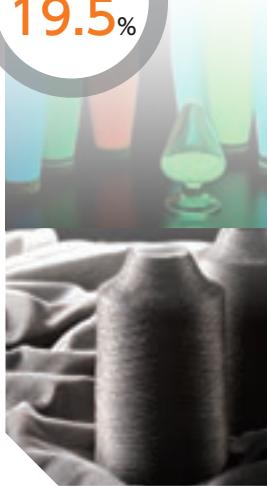


この結果、売上高は前年同期比2,257百万円（16.5%）減収の11,407百万円となり、営業利益は15百万円（1.2%）減益の1,367百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は3,675百万円減少しております。これを勘案しますと、売上高は15,083百万円となり前年同期比1,418百万円（10.4%）増収となります。

生活衣料事業

売上高 6,988百万円 営業利益 759百万円

売上高構成比
19.5%



生活衣料事業は、コロナ禍による消費活動の制限に加え、国内市場の消費マインドの冷え込みの影響も続き、実店舗における衣料品の販売は総じて苦戦するなど、厳しい状況が続きました。そのため、顧客の購買動向に応じたより収益性の高い製品への絞り込みを行うことで、採算が改善しました。一方、インターネットなどの新規チャネル販売は、巣ごもり消費という新しい消費スタイルが生まれ定着しつつあり、堅調に推移しました。



この結果、売上高は前年同期比78百万円(1.1%)減収の6,988百万円となり、営業利益は534百万円(238.2%)増益の759百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は46百万円減少しております。これを勘案しますと、売上高は7,034百万円となり、前年同期比32百万円(0.5%)減収となります。

その他の事業

売上高 2,383百万円 営業利益 68百万円

売上高構成比
6.6%



化成部品部門は、デジタルカメラ用部品および医療機器用部品については、コロナ禍以降落ち込んでいた需要が徐々に回復してきました。金型部門は、不振が長引く自動車業界の影響を受け、受注が減少しました。貿易部門は、収益性、安全性の高い取引に対象を絞り、体質改善を進めました。



この結果、売上高は前年同期比649百万円(21.4%)減収の2,383百万円となり、営業利益は74百万円(52.1%)減益の68百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用による影響はありません。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当 期 2022年3月31日 現 在	前 期 2021年3月31日 現 在
資産の部	58,531	55,789
流動資産	22,544	18,433
現金及び預金	8,330	4,616
受取手形及び売掛金	—	8,622
受取手形	705	—
売掛金	7,804	—
商品及び製品	1,103	1,119
仕掛品	2,098	2,012
原材料及び貯蔵品	1,321	1,094
その他	1,196	984
貸倒引当金	△16	△16
固定資産	35,987	37,355
有形固定資産	32,572	33,995
建物及び構築物	10,072	10,355
機械装置及び運搬具	7,672	8,845
土地	13,798	13,806
リース資産	95	56
建設仮勘定	311	279
その他	622	650
無形固定資産	605	673
投資その他の資産	2,808	2,687
投資有価証券	2,029	2,165
繰延税金資産	442	194
その他	337	327
貸倒引当金	—	△0
資産合計	58,531	55,789

科目	当 期 2022年3月31日 現 在	前 期 2021年3月31日 現 在
負債の部	18,034	18,506
流動負債	11,476	11,882
支払手形及び買掛金	4,955	3,743
電子記録債務	928	851
短期借入金	1,306	1,194
リース債務	56	38
未払法人税等	754	947
契約負債	114	—
賞与引当金	648	598
返品調整引当金	—	17
その他	2,711	4,491
固定負債	6,557	6,623
長期借入金	60	164
リース債務	130	68
繰延税金負債	806	832
再評価に係る繰延税金負債	729	729
退職給付に係る負債	4,376	4,413
資産除去債務	324	312
その他	130	101
純資産の部	40,497	37,282
株主資本	38,015	34,797
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,196	2,184
利益剰余金	29,676	26,481
自己株式	△530	△541
その他の包括利益累計額	2,481	2,485
その他有価証券評価差額金	632	721
繰延ヘッジ損益	1	△2
土地再評価差額金	1,540	1,540
為替換算調整勘定	334	227
退職給付に係る調整累計額	△27	△1
非支配株主持分	0	0
負債純資産合計	58,531	55,789

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2021年4月1日～ 2022年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	35,916	36,932
売上原価	23,242	24,728
売上総利益	12,674	12,203
販売費及び一般管理費	6,797	6,918
営業利益	5,877	5,285
営業外収益	398	353
受取利息	0	1
受取配当金	50	48
固定資産賃貸料	306	263
その他	39	39
営業外費用	229	187
支払利息	11	14
固定資産賃貸費用	82	59
遊休資産諸費用	38	15
コミットメントフィー	32	32
為替差損	46	26
その他	18	39
経常利益	6,045	5,450
特別利益	3	915
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	0	15
補助金収入	—	900
特別損失	132	532
固定資産処分損	107	271
減損損失	14	160
新型コロナウイルス感染症に係る支援費用	—	78
その他	10	21
税金等調整前当期純利益	5,917	5,834
法人税、住民税及び事業税	1,697	1,586
法人税等調整額	△235	△68
当期純利益	4,455	4,315
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	4,455	4,315

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2021年4月1日～ 2022年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,107	6,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,928	△5,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,456	△1,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△21
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	3,743	△358
現金及び現金同等物の期首残高	4,571	4,930
現金及び現金同等物の期末残高	8,315	4,571

Topics

Topics

1

研磨材事業

グローバルニッチNo.1の 研磨材メーカーを目指して

コロナ禍によるワークスタイルの変化に伴い、デジタル化が加速し、通信需要が拡大しています。この潮流を支えている半導体の製造工程においては、極限まで凹凸をなくすこと、さらには無欠陥が求められており、研磨プロセスの重要性はますます高まっています。



フジボウ愛媛(株)は、ナノレベルの平坦性、無欠陥が必要とされる超精密加工用研磨材を安定的に供給でき

る体制を構築しています。国内4拠点、海外1拠点による圧倒的な生産能力と高い技術力・分析力をもって、各部門が一体となって顧客が求める製品をタイムリーに提供しています。

時代と共に変化する研磨のニーズをいち早く捉え、きめ細やかに対応することで、顧客の信頼を勝ち取り、中期経営計画『増強21-25』で掲げる、“グローバルニッチNo.1”を目指してまいります。

Topics

2

化学工業品事業

更なる市場拡大に備え、 関連設備を拡充

柳井化学工業(株)が展開する機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造事業は、コロナ禍が長期化するなかでも、販売先の堅調な需要に支えられ、拡大基調で推移しています。

当期の後半から、新型コロナウイルス感染症拡大がサプライチェーンに及ぼす影響や中国



国内の電力制限などにより、原料の入荷に支障が生じましたが、堅調な需要を背景に、新たに生産ラインを増設した武生工場(福井県)、柳井本社工場(山口県)共にフル稼働を維持しました。

ファインケミカル市場は、引き続き旺盛な需要が期待されており、更なる生産能力の増強を図るべく、将来の新プラント建設を視野に、品質管理部門の強化とそれを支える人材の拡充に努めています。また、万一の災害に備えて非常用発電機を設置するなど、安全面にも万全を期し、更なる事業拡大を目指してまいります。



B.V.D. ネット限定商品を 充実

B.V.D.では、ネット限定商品を拡充しています。

メンズでは、“THE AMERICAN STYLE”をテーマに、『BODY GEAR』シリーズを新企画。B.V.D.ブリーフの定番である、丈夫でフィットするデザインを受け継ぎながら、ポップでカジュアルなビジュアルと豊



富なカラーバリエーションでアイテムを充実させました。

レディスでは、おうち時間の充実を意識し、“毎

日にちょうどいい”をテーマにした『毎日ブラ』を新たに展開。ベーシックなデザインで楽な着心地、上下のセットで購入ができるスタイルが好評です。「脱ワイヤーブラ派」のお客様に満足してもらえよう、シリーズ化に向けた企画を進めています。

B.V.D.ブランドが培ってきた高品質、着心地の良さを基本に、限定商品ならではの切り口で企画を進め、SNSなどで発信することで、お客様の獲得につなげていきます。



Topics

3

生活衣料事業

おしえてフジボウ、 どんな会社？

企業CMが4月から新しくなりました。新CM「フジボウ合唱団」篇は、3人の子どもたちがスイス民謡「おおブレネリ」のメロディーに合わせて、「おしえてフジボウ、どんな会社？」と歌い、フジボウの人たちが「つくっているのは」と、B.V.D.、研磨材、化成品、化学工業品の順で答えるというものです。



新CMを通して、「未来の素をつくる。」をテーマに、幅広い事業を手掛けるフジボウの魅力を訴求していきます。新CMはQRコードからご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

【新CM歌詞】

おしえてフジボウ どんな会社？
つくっているのは B.V.D. 研磨材
化成品 化学工業品
いろんな素材をつくってるの
みんなの暮らしを 変えていくもの
未来の素を作る。 フジボウ



Topics

4

企業CM

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体94名 連結1,195名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社 (2022年3月31日現在)

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)

台湾富士紡精密材料股份有限公司

フジケミ(株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

■ その他の事業

フジボウテキスタイル(株)

フジケミ(株)

(株)東京金型

■ 生活衣料事業

(株)フジボウアパレル

ジンタナフジボウコーポレーション

フジボウテキスタイル(株)

タイフジボウテキスタイル(株)

富士紡(上海)商貿有限公司

役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	井上雅偉
代表取締役 副社長執行役員	吉田和司
代表取締役 専務執行役員	豊岡保雄
取締役 上席執行役員	望月吉見
取締役 上席執行役員	平野治
取締役	ルース・マリ・ジャーマン
取締役	小林久志
取締役	佐藤梨江子
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	生田目克
監査役	大塚幸太郎

(注) 1. 取締役のルース・マリ・ジャーマン、小林久志、佐藤梨江子の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役の大西秀昭、生田目克、大塚幸太郎の3氏は社外監査役であります。

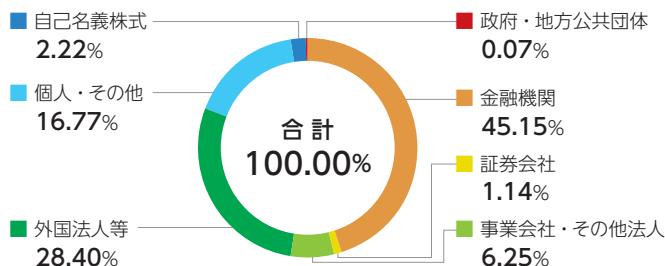
執行役員 (2022年6月29日現在)

専務執行役員	木原勝志
専務執行役員	藤岡敏文
上席執行役員	野口篤謙
上席執行役員	鈴木眞
上席執行役員	安藤興司
執行役員	岡田祐明
執行役員	中村隆夫
執行役員	戸坂浩二
執行役員	清水康弘

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,504名

所有者別分布状況

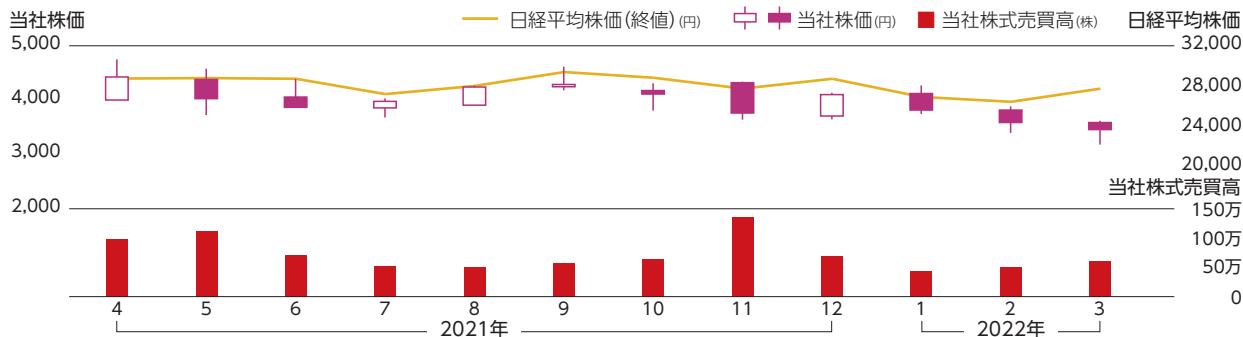


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,212,500	19.31
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	932,300	8.14
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	576,500	5.03
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	559,900	4.89
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.36
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.81
フジボウ共栄会	290,500	2.53
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	257,100	2.24
福岡 務	206,200	1.80

(注) 1. 当社は自己株式を260,399株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.fujibo.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

